

補助事業番号 24-4-062
補助事業名 平成24年度（復興支援）被災者や被災地域が行う復興活動補助事業
補助事業者名 一般社団法人気仙沼鹿折復興マルシェ

1 補助事業の概要

（1）事業の目的

震災、津波、大火災により町の中心部が壊滅状態となった気仙沼市鹿折地区（地区内棟数の58.1%が被災）。被災した地域住民の多くは計り知れないほどの大きなダメージを被ったうえに、今もなお復興への具体的な道筋が見えず途方にくれながら日々を過ごしている。今後本格的に始まろうとしている町の復興に向けて、一人でも多くの住民が前向きな気持ちを取り戻し町の再生活動に参加することを実現するためには、彼らへの精神的なケアが不可欠だと感じる。

本事業において、震災により中断している夏季恒例の地域親交イベントを再開することによりそれを果たすことを目的とする。

（2）実施内容

鹿折復興祈念夏祭りの開催 (<http://www.shishiori-marche.jp/活動報告/2012鹿折復興祈念夏祭り/>)

平成24年8月25日（土）仮設商店街「気仙沼鹿折復興マルシェ」を会場として「鹿折復興祈念夏祭り」と銘打ったイベントを開催した。

地域の被災住民とともに準備に取り組み、当日は地域内の住民はもとより多くの一般市民や観光客にもご来場いただき終日大盛況の賑わいをみせた。

■実施状況写真



■タレントステージショー



■西馬音内盆踊り演舞



■被災者追悼慰霊セレモニー



■アートトラック展示

2 予想される事業実施効果

事業実施のころ地域の中には、大きな虚無感に苛まれ将来や再建について考えることにすら対峙できず、震災で被った大きな痛みを抱えたまま引きこもって暮らす人々が多く存在した。また、個々の被災度合いの相違などからくる精神的な要因に加え、旧地域住民たちが市内90か所以上の仮設住宅に分散して暮らすという物理的要因からも、人々の交流は途絶えがちになってきていた。

こうした状況にあって、地域コミュニティ崩壊への危機を現実のものとして強く感じていたが、そうした時期に本事業を実施できた意義は大きかったと感じている。準備の段階から多くの地域住民の参加を促す体制をとり、地域全体を巻き込んだイベントにすることで、人々の繋がりを取り戻すきっかけとなることを目指して取り組んだ。

被災した地域の住民達に、たとえ一時でも町の仲間たちと再会し良き昔を思い出してもらえたのであれば、些かでも精神的なケアが果たせたであろうと考えている。

また、仲間との繋がりを取り戻した彼らが一歩前へ踏み出そうとする前向きな気持ちを取り戻してくれれば、今後の町の再生活動に積極的に加わってくれるものとも考える。

本事業の実施が本格化をむかえる「復興まちづくり事業」によいかたちでの布石となり作用することを期待している。

3 本事業により作成した印刷物等

4 事業内容についての問い合わせ先

所属機関名： 一般社団法人気仙沼鹿折復興マルシェ（ケセンヌマシシオリフッコウマルシェ）

住 所： 988-0007

宮城県気仙沼市中みなと町107-1

代 表 者： 代表理事 塩田 賢一（シオタ ケンイチ）

担 当 部 署： 本部（ホンプ）

担 当 者 名： 代表理事 塩田 賢一（シオタ ケンイチ）

電 話 番 号： 0226-29-6816

F A X： 0226-29-6817

E - m a i l： hukko.marche@gmail.com

U R L： <http://www.shishiori-marche.jp/>